

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：大山崎町

プロジェクト名	子どもが健やかに育ち、高齢者がいきいきと活躍できるまちづくりプロジェクト	実施期間	平成25年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町の人口は、昭和41年から始まった団地建設にともない、昭和55年にかけて人口が約4倍に急増した。この後、昭和61年から人口が減少し、平成17年以降はほぼ横ばいになっている。</p> <p>大規模の団地建設とともに京阪神のベッドタウンとして発展してきたまちも、少子化の進行と相まって高齢化が着実に進んでいる。平成25年11月1日現在の高齢化率は26.2%。</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で安心した日常生活と社会参加ができるような環境をつくる必要がある。</p> <p>一方、近年の宅地開発などにより転入してきた子育て世代の定住に向けて、本町が持つ地域の特性を十分に活かした魅力あるまちづくりが必要である。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>子どもが健やかに育つ環境を整えることで若年世代の定住を促し、子どもや高齢者が安心した日常生活を送れるような環境を整えた。</p>						
	総事業費（千円）	4,362	本年度事業費（千円）	4,362	交付金額（千円）	510	
プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	町立小学校特別支援教育支援事業	交付対象事業	町立小学校に、特別支援教育支援員を配置。	支援員の配置：2校（大山崎小学校・第二大山崎小学校）／各校1名			
	高齢者元気づくり推進事業	交付対象事業	70歳以上の高齢者を対象に、敬老の記念式典や行事を開催。	参加者：約350人			
	緊急通報装置給付事業	関連事業	高齢者の自宅に、緊急時に消防署へ直結する通報装置の本体および設置工事費用を助成（全部または一部）。	新規設置：8件、機器保守：14台			
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	敬老会参加者：400人		成果指標の実績値 （平成26年3月31日時点）	敬老会参加者：約350人		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	当初想定した参加者には届かなかったものの、例年並の参加者を得ることができたため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）		
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	<p>敬老会の式典と参加者になじみのある演芸の2部構成で開催したため、多くの方に参加していただくことができた。また、会場への送迎があることも参加しやすい要因となった。</p>						
※未達成の場合も効果を記載すること	<p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>						

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：大山崎町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	敬老会の式典で、賀寿表彰に保育所の園児たちが参加することにより、子どもとのふれあいの場としても効果があった。
	府と市町村等との連携に資する成果	敬老会の式典で、賀寿表彰を府と町でそれぞれの対象者に対して行った。また、当日出席できなかった対象者にも、訪問等により賀寿表彰を行った。
	その他の成果	敬老会会場への送迎をつけることで、ひとり暮らし等の高齢者も参加しやすい環境を提供し、ひきこもり予防につなげることが期待できる。 また、特別支援教育支援員を配置することによって、児童の安全確保及び個別支援が可能となり、きめ細やかな教育体制の構築を図ることができた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。